

# 新しい大学のあり方を求めて（学生生活白書）

## 目 次

まえがき

序 章

本書の基礎

実態調査の背景と経過

調査の概要

本書の制作

制作の基本姿勢

第1章 設置基準の大綱化と大学改革

第1節 設置基準の大綱化

1. 大綱化の理念
2. 大綱化と大学の理念（建学の精神）
3. 大綱化と自己点検・自己評価
4. 大綱化後の影響

第2節 大学改革と学生の期待・要望

1. カリキュラム
2. 施設・設備
3. 制度

第2章 カリキュラム改革と学生たち

第1節 誰による誰のためのカリキュラム改革

1. 教育改革と学生生活実態調査
2. 専門教育と一般教育
3. 新しい教養教育の必要性
4. カリキュラム改革への学生の声
5. カリキュラム構成に不満 - 36.1%
6. おもしろく楽しい授業を期待 - 27.0%
7. 学生生活の充実度と講義・演習
8. 大学生生活「授業の内容」に満足感 - 平均24.9%
9. 大綱化されなかった各種資格課程科目

第2節 ボ・ダレス化時代

1. ボ・ダレス化と総合化・学際化

2. 総体としての学生と大学教育
  3. 大衆化時代の大学における教育と研究
  4. 大学教員の考え方 日本と諸外国
- 第3節 正課外教育と学生の満足度・充実度
1. 正課外教育と学生のポテンシャル
  2. 正課外活動の現状
  3. 課外活動と正課教育のウエイト
  4. 友人を得るための課外活動
  5. 課外活動とトラブル
- 第4節 私学の独自性 さまざまなケ - ス
1. 私立大学の努力
- 第3章 大学・学生を取り巻く環境変化
- 第1節 国際化と大学・学生
1. 国際化に対する評価
  2. 「内なる国際化」と「外への国際化」
  3. 国際化と正課教育
  4. 国際化と課外教育
- 第2節 情報化と大学・学生
1. 情報化に対する評価
  2. 情報化と情報処理教育
  3. 情報化と大学におけるコミュニケーション
  4. 情報化と国際化
  5. 情報化・国際化に対する大学の支援
- 第4章 学生と経済生活
- 第1節 経済生活の現状と変化
1. 経済生活についての実感
  2. アルバイトと学生生活
- 第2節 学費負担と格差是正
1. 学費の負担感
  2. 大学生の出身階層（所得階層別）
  3. 学生生活費（平成6年度）
  4. 授業料等学生納付金（平成9年度）
  5. 国立学校の授業料免除制度

- 6．日本育英会奨学金の現状
- 7．学生1人当たり教育費
- 8．私立大学等経常費補助金
- 9．諸外国の事情
- 10．格差是正に向けて

## 第5章 キャンパスライフの充実度

### 第1節 キャンパスライフ

- 1．キャンパスにおいて
- 2．友人交際と自由時間

### 第2節 学生生活の充実のために

- 1．充実している学生は
- 2．「充実」をもたらすもの，阻害するもの
- 3．さまざまなボ - ダを越えて

## 第6章 学生生活における不安や悩み

### 第1節 悩む学生・悩まない学生

- 1．不安や悩みの有無
- 2．不安や悩みの内容
- 3．就職や将来の進路
- 4．相談相手と解決策
- 5．学生生活の多様化と学生部組織

### 第2節 不安や悩みと学生相談

- 1．学生相談の理念と現状
- 2．これからの相談室組織
- 3．教員とカウンセリングマインド

## 第7章 大学院改革と大学院教育

### 第1節 大学改革と大学院改革

- 1．大学院の理念の変化
- 2．大学院学生の厚生・助育と大学院組織

### 第2節 急増する大学院学生と大学院教育

- 1．大学院学生の多様化と大学院教育
- 2．学位問題

特集 私学の独自性      さまざまなケ - ス

あとがき